

Ⅲ 新卒訪問看護師育成プログラムの概要

1. プログラムの特徴

- 1) 兵庫県版のプログラムは、日本看護協会「看護師のクリニカルラダー」・「訪問看護研修プログラム（コアカリキュラム）」「訪問看護 e-ラーニング」、兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会「新任訪問看護師の育成と定着のためにー『訪問看護 OJT マニュアル』」をもとに作成した。
- 2) 新卒看護師を「訪問看護の現場で育てる」視点と「地域の中で育てる」視点を重視し、訪問看護ステーションと県内の各関連機関が協働して、人材育成を行うシステムとした。
- 3) 本育成プログラムは、新卒看護師の個別性にあわせ、各々の訪問看護ステーションで検討しながら活用することにより、効果的かつ均質な訪問看護師の育成が可能となるようにした。
- 4) 「新卒看護師あゆみシート」は、卒後1年目・2年目の大目標～行動目標や自己の振り返りまで、一覧でわかるように工夫した。
- 5) 基本的な看護技術の評価をするために、厚生労働省「新人看護職員研修ガイドライン（改訂版）平成26年2月」をもとに「看護技術評価シート」を作成した。

2. 目的

兵庫県内の訪問看護師を志願する新卒看護師が、自律した訪問看護師として活動することができる。

3. 目標

- 1) 1年目：社会人、専門職として自覚と責任を持って行動できる
基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を得て看護を実践できる。
- 2) 2年目：標準的な看護計画に基づき自立して看護が実践できる。

4. 研修期間

卒後2年間とする。ただし、新卒看護師の個別性に応じて調整する。

5. 指導者

- 1) 事業所内：管理者及び教育担当者または認定看護師
- 2) 外部（協力訪問看護ステーション）：認定看護師又は専門看護師等
- 3) 病院：指導担当者等